マテリアリティ

持続可能な社会を実現するため、当社が考えるマテリアリティ（重要課題）やありたい姿、2024年度の取り組みは以下のとおりです。

項目	マテリアリティ（重要課題）	ありたい姿	2024年度の取り組み
環境マネジメント	カーボンニュートラルの達成	『脱炭素社会』、『循環型社会』、『自然共生社会』の3本柱の構築による持続可能な社会への貢献	●CO_2排出量低減に向けた塗装ブース熱源の電動化 ●指定部品製造ラインの製造CO_2排出量低減の活動 ●指定受注部品1個当たりのCO_2排出量低減の活動 ●再生可能エネルギーの普及 ●サプライヤーへの脱炭素支援活動
	サーキュラーエコノミーの実現		●排出物の量とリサイクル量（率）の明確化 ●クローズドリサイクルへの挑戦 ●リサイクルハンガーの活用
	人と自然が共生する社会の構築		●こじま苑での植生調査や観察会の実施 ●認証・登録制度への挑戦 （環境省自然共生サイト、 あいち生物多様性企業認証） ●宮川社有林での植樹会活動
人権の尊重・働きやすい職場づくり	様々な人財・人権の尊重と多様な働き方の提供	多様な人財の働き方に合わせた職場環境の風土醸成	●積極的な育児休業の取得 ●フレックスタイムの利用促進 ●福利厚生（給食の無償提供）の拡充 ●頑張った人が報われる新人事制度の運用 ●いきいきCUP開催（労働組合主催）による働き方の改善
人財育成	挑戦を支援できる制度の拡充 評価制度の正しい運用	社員の自発的な成長を支援する教育体系	●キャリア形成（人事制度）と連動した教育体系と評価制度の構築 ●節目教育（昇格者教育・キャリア教育・入社教育）の実施 ●選択教育（社内教育・社外教育・挑戦サポート）の実施
健康経営	すべての人がイキイキ働くための健康支援	心身の健康による明るく楽しい職場の実現	●抗加齢ドックの実施 ●cocokaraコースの実施 ●Amazonビジネスの利用拡大 ●各種イベント（KojiwalK、こじま杯、スポーツフェスティバル）開催による心身の健康促進
安全・安心な事業活動	安全を自分事としてとらえることができる人づくり	人を中心とした安全文化を醸成し、すべての災害の未然防止	●社長による安全点検の実施 ●安全衛生委員会による安全相談会の実施 ●オール小島統一立哨による交通事故の撲滅 ●避難訓練や防災備蓄品の配布訓練による自然災害への迅速な対応

項目	マテリアリティ（重要課題）	ありたい姿	2024年度の取り組み
お客様満足	お客様の期待に応え、より良い価値を提供	得意先からの期待値を超えることによる相互信頼の向上	●プロジェクト表彰への挑戦 ●トヨタ自動車を始めとする得意先からの表彰への挑戦 ●トヨタ生産方式自主研究会への参画
	良品条件の追究（工程能力の確保） 適正品質の企画（過剰品質の撲滅） 改善できる『品質』人財の育成	お客様の満足につながる、安全・安心・安定した品質の提供	●SSA推進活動 ●データサイエンスを活用した良品条件の追究 ●標準作業の遵守や良品条件の追究 ●QC教育や職場指定教育による人財育成
サプライチェーン	サプライヤーとの信用と信頼関係の構築	サプライヤーとともに切磋琢磨し、地域社会に貢献する企業の実現	●サプライヤー展示会や講習会、オール小島サプライヤーミーティングによる相互信頼の向上 ●サプライヤーへの防火点検活動・情報セキュリティ支援・SSA現地確認会の実施 ●グリーン調達ガイドラインの発行
地域・社会貢献	事業活動を通じた地域・社会との融合、国際社会への貢献	社会課題の解決を通して持続可能な地域・国際社会との共生	●地域交流 （地域観桜会・工作教室・地域清掃活動・防犯パトロール） ●社会との共生（地域防災協定） ●こじま福祉会活動 （こども園・こじまキャンパスの活動・豊田市さくらワークス） ●国際交流 （奨学金奨励金授与式・青海日本文化交流のつどい）
コーポレートガバナンス	透明・公正かつ迅速・即断な意思決定を行う組織体制の構築	誠実な事業活動を通じた企業価値の向上	●組織・管理体制の強化
	より法令遵守を浸透させる推進体制の構築	法令遵守による社会的信頼の獲得	
	リスクを未然に防ぐ管理体制の構築と迅速なインシデント対応	徹底したリスク管理による社会的責任の遂行	●情報セキュリティ管理体制の強化 ●システム障害対応訓練・サプライヤーへの情報セキュリティ支援